

- 市の玄関口である川西能勢口駅に隣接する中央北地区(キセラ川西)において、土地区画整理事業による都市基盤の整備と合わせた都市機能の集約を目指すもの。
- 都市機能の集約化、交通、建築物、みどり、エネルギーの5分野で、様々な取組を実施する計画。

## ■ 目標及び方針

### 【将来ビジョン】低炭素や省エネに配慮した持続可能なまち

低炭素化や省エネに配慮して、「持続可能なまちづくり」に向けて、定住魅力を高めていくような、多世代が交流し、「安全で安心して住み続けられる居住環境の整備」を進めていくことが必要となります。

取り組む区域 ○: 交通計画地域 ●: 集約地域

### 【方針1：都市構造分野】

現在の都市構造を活かしたコンパクトなまちへの誘導

- 医療・住宅施設の誘致および集約都市開発事業の活用 (P16)
- 各事業者と連携した地域の低炭素化の促進およびモニタリング (P17)

### 【方針2：交通分野】

公共交通、低炭素末端交通手段を守り育て低炭素な移動を確保

- 駅および周辺市街地との連携強化 (P18)
- 交通計画地域内交通の確保 (P19)
- 公共交通利用促進 (P20)
- 集約地域内車両の低炭素化 (P21)

### 【方針3：建築分野】

自然エネルギー活用や景観配慮による魅力的な低炭素建築物への転換

- 建築物(既築・新築)の低炭素化の促進 (P22)
- 市民への普及啓発・環境学習の仕組み導入 (P23)
- その他相乗効果のための建築側での配慮 (P24)

### 【方針4：みどり分野】

みどりを育み、感じられるまち

- まちの魅力向上に貢献する緑地、緑化の整備 (P25)
- 緑地管理機構や管理協定制度の活用等 (P27)

### 【方針5：エネルギー分野】

エネルギーを感じられ、災害時に一定のエネルギーが確保されるまち

- まちの魅力向上に貢献する再生可能エネルギー等(太陽光、下水熱等)の導入 (P29)
- 市民への普及啓発、防災・エネルギー学習の仕組み導入 (P30)
- 災害時に対応したエネルギーシステムの導入 (P31)

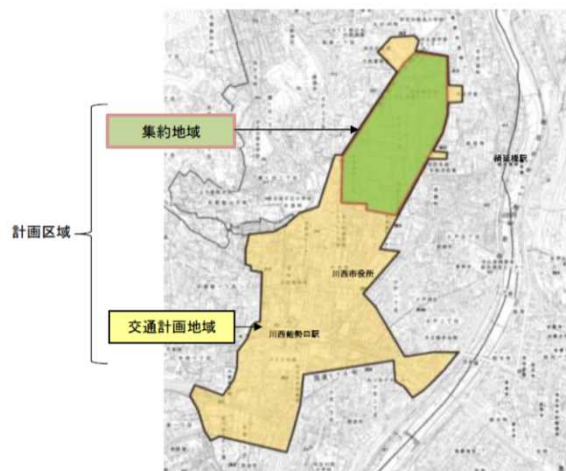
## ■ 計画区域(=交通計画地域)

### (1) 集約地域

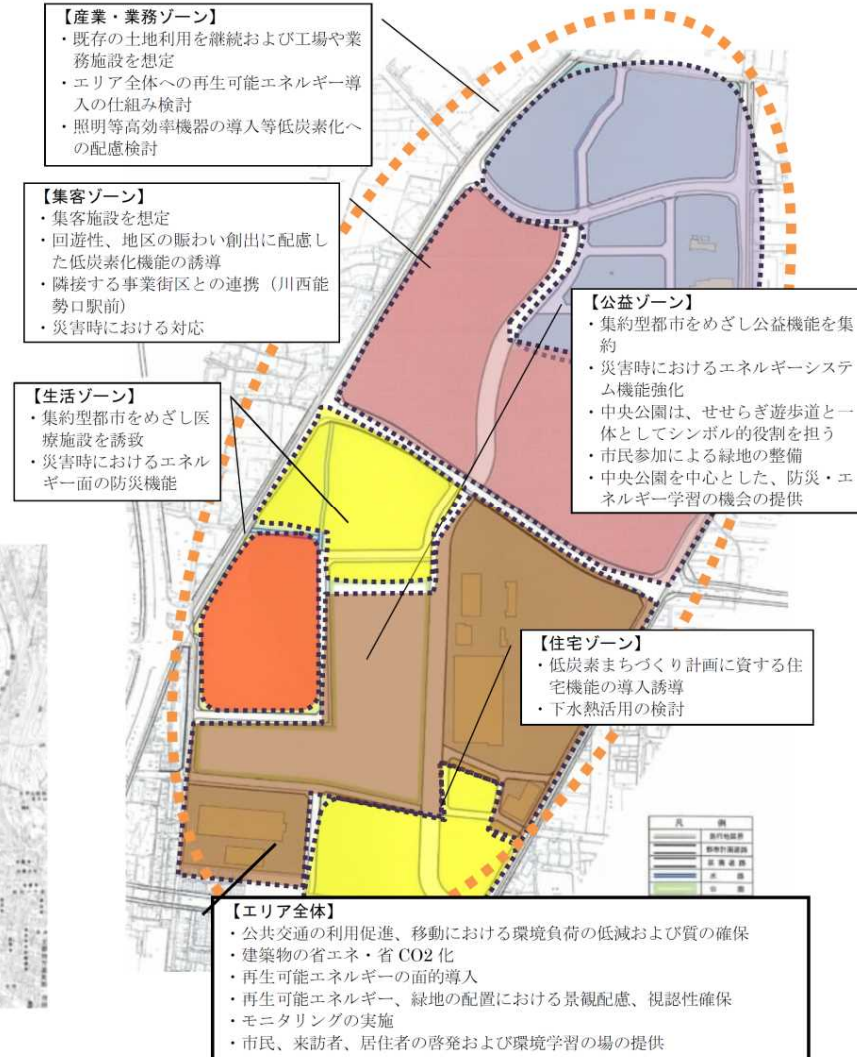
低炭素化を促進するためのモデル的区域(約22.3ha)

### (2) 交通計画地域

交通を対象とした低炭素化に寄与する取り組みを集約地域と連携し一体的に進める区域計画区域全域(約80ha)を交通計画地域とする。



導入が期待される主な都市機能の集約(コンパクトシティの形成)イメージ



## ■ 計画期間

平成25年3月より10年間の計画とする。